

乳癌オリゴ転移への挑戦と患者選定における PET/CTの重要性

座長

久保田 一徳先生

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科 主任教授

演者

石場 俊之先生

東京科学大学病院 乳腺外科 講師

日時

2025年12月16日（火） 17:30-18:15

オリゴ転移は、転移巣の数が少なく腫瘍径が小さい、局所療法により完全消失の可能性がある状態と定義される。遠隔転移に対する局所療法（metastasis directed therapy:MDT）には手術や体幹部定位放射線治療（SBRT）が含まれ、近年オリゴ転移に対するMDTの有用性について臨床試験が実施されている。乳癌を含むランダム化試験SABR-COMETでは、SBRTにより全生存期間（OS）の改善が報告された。しかし乳癌を対象としたII/III相試験NRG-BR002では第II相部分でMDTの有効性が認められず早期中止となった。本邦で実施されているJCOG2110（OLIGAMI試験）は、PET検査も含んだ初回遠隔転移診断時に3個以下かつ3cm以下のオリゴ転移を認める乳癌に対し、サブタイプ別の12週間の全身薬物療法で薬剤感受性のあるオリゴ転移に対してMDTの追加による予後を検証する試験である。今回はPET検査による患者選定の重要性を含めて解説する。

事前視聴登録サイト

下記URLまたはQRコードより、事前登録をお願い致します。
ご登録後、当日視聴用URLを別途改めてEメールにてお知らせ致します。

URL

<https://lpage.nmp.co.jp/FDG251216.html>

事前登録いただいた方には、ご登録完了後24時間以内に登録完了メールを差し上げます。
※一部、Gmail等をご利用の先生方には弊社からのメールが届かない事象が発生しております。
登録完了のメールが届いていない場合は、お手数ですが下記の問合せ先までご連絡ください。



Zoom Webinarの利用方法について

URL

<https://www.nmp.co.jp/member/zoom/webinarinfo/index.html>

本セミナーはZoom Webinarを利用して配信いたします。当日は5分前より入室可能です。